

# NOSE SHOP

2026年3月17日

各位

会社名 NOSE SHOP 株式会社  
(コード番号 527A TOKYO PRO Market)  
代表者名 代表取締役社長 中森 友喜  
問合せ先 取締役管理本部長 林 寛之  
T E L 03-6821-1030  
U R L <https://noseshop.jp/>

東京証券取引所 TOKYO PRO Market への上場に伴う当社決算情報等のお知らせ

当社は、本日2026年3月17日に東京証券取引所 TOKYO PRO Market に上場いたしました。今後ともなお一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、2026年6月期(2025年7月1日から2026年6月30日まで)における当社の業績予想は、次のとおりであり、また、最近の決算情報等につきましては別添のとおりであります。

【個別】

(単位：百万円、%)

項目	決算期	2026年6月期(予想)		2025年6月期(実績)		
		構成比	対前期増減率		構成比	
売上高		2,383	100.0	25.1	1,905	100.0
営業利益		218	9.2	△5.1	230	12.1
経常利益		215	9.0	△5.4	227	12.0
当期純利益		140	5.9	△13.0	161	8.5
1株当たり当期純利益		140.85円		161.83円		
1株当たり配当金		—		—		

(注) 1. 当社は連結財務諸表を作成しておりません。

2. 2025年12月17日付で普通株式1株につき10,000株の株式分割を行っておりますが、2025年6月期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり当期純利益を算定しております。

3. 1株当たり当期純利益は、期中平均発行済株式数(2026年6月期については予定)で算出しております。

## 【2026年6月期業績予想の前提条件】

### 1. 当社全体の見通し

わが国経済は、世界的なインフレーションや地政学的リスクの高まりにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、各国の金融政策が目まぐるしく変化する中、日本円の為替相場も流動的であり、当社の仕入れコストや収益性に影響を及ぼす可能性が高まっています。このような経済環境の中、当社は主力事業であるニッチフレグランスの輸入販売に注力してまいりました。原材料費や輸送コストの上昇、急激に進行した円安の影響を受けつつも、収益性の向上に向けた施策を進めたことにより、一定の成果を上げております。

なお、以下に記載する業績予想につきましては、2024年7月から2025年6月までの実績値及び2025年7月から2026年6月までの予想値を使用して算出しております。

### 2. 業績予想の前提条件

#### (1) 売上高

当社は海外ブランド香水の輸入販売を主力としたフレグランス等のコスメ販売事業の単一セグメントであります。売上高は、既存店舗等については、香水業界の市況及び過去の実績に基づいて見積もっており、新規店舗については、当社内の過去の類似店舗の実績等に基づいて見積もっております。

これらの結果、売上高は2,383百万円（前期比25.1%増）を見込んでおります。

#### (2) 売上原価、売上総利益

売上原価は、売上予想を前提とした売上原価により、売上高の変動要因及び過去の実績値を参考に見積もっております。

これらの結果、売上原価は750百万円（前期比31.1%増）、売上総利益は1,632百万円（前期比22.5%増）を見込んでおります。

#### (3) 販売費及び一般管理費、営業利益

販売費及び一般管理費は、過去の実績推移及び人員計画に基づき算定しております。

これらの結果、販売費及び一般管理費は1,414百万円（前期比28.3%増）、営業利益は218百万円（前期比5.1%減）を見込んでおります。

#### (4) 営業外損益、経常利益

営業外損益は、過去の実績に基づき、発生が見込まれる営業外損益を算出しております。

これらの結果、経常利益は215百万円（前期比5.4%減）を見込んでおります。

#### (5) 特別損益、親会社に帰属する当期純利益

特別損益に関しましては該当事項が無いため想定しておりません。

当期純利益は、法人税等を考慮して140百万円（前期比13.0%減）を見込んでおります。

**【業績予想に関するご留意事項】**

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、経済状況の変化、市場環境の変化及び他社との競合等の様々な要因によって異なる場合があります。

以 上

## 2026年6月期 中間決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年3月17日

上場会社名 NOSE SHOP 株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 527A URL https://noseshop.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 中森 友喜  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 林 寛之 TEL 03 ( 6821 ) 1030  
 定時株主総会開催予定日 — 配当支払開始予定日 —  
 中間発行者情報提出予定日 2026年3月31日  
 中間決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 中間決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年6月期中間期の業績 (2025年7月1日～2025年12月31日)

#### (1) 経営成績 (累計)

(%表示は対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年6月期中間期	1,170	—	65	—	69	—	47	—
2025年6月期中間期	—	—	—	—	—	—	—	—

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年6月期中間期	47.15	—
2025年6月期中間期	—	—

(注1) 当社は2026年6月期中間期より中間財務諸表を作成しているため、2025年6月期中間期の数値並びに2026年6月期中間期の対前年中間期増減率については記載しておりません。

(注2) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(注3) 当社は2025年11月17日開催の取締役会の決議に基づき、2025年12月17日付で普通株式1株につき10,000株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり中間純利益を算定しております。

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年6月期中間期	1,025	593	57.9
2025年6月期	989	546	55.2

(参考) 自己資本      2026年6月期中間期      593 百万円      2025年6月期      546 百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金		
	中間	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭
2025年6月期	0.00	0.00	0.00
2026年6月期	0.00	—	—
2026年6月期 (予想)	—	—	—

(注1) 当社は2025年12月17日付で普通株式1株につき10,000株の株式分割を行いました。2025年6月期以前については当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

(注2) 2026年6月期の期末の配当金額は未定であります。

### 3. 2026年6月期の業績予想 (2025年7月1日～2026年6月30日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,383	25.1	218	△5.1	215	△5.4	140	△13.0	140.85

注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 中間財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年6月期中間期	1,000,000株	2025年6月期	1,000,000株
② 期末自己株式数	2026年6月期中間期	-株	2025年6月期	-株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年6月期中間期	1,000,000株	2025年6月期中間期	1,000,000株

(注) 当社は2025年11月17日開催の取締役会の決議に基づき、2025年12月17日付で普通株式1株につき10,000株の株式分割を行いました。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 中間決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる場合があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページの「1. 当中間決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間貸借対照表	4
(2) 中間損益計算書	6
(3) 中間キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 中間財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等の注記)	8
(重要な後発事象)	8

## 1. 当中間決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当中間会計期間（2025 年 7 月 1 日～2025 年 12 月 31 日）におけるわが国経済は、世界的なインフレーションや地政学的リスクの高まりにより、依然として先行き不透明な状況が続いております。また、各国の金融政策が目まぐるしく変化する中、日本円の為替相場も流動的であり、当社の仕入れコストや収益性に影響を及ぼす可能性が高まっています。このような経済環境の中、当社は主力事業であるニッチフレグランスの輸入販売に注力してまいりました。原材料費や輸送コストの上昇、急激に進行した円安の影響を受けつつも、収益性の向上に向けた施策を進めたことにより、一定の成果を上げております。

その結果、当中間会計期間の売上高は 1,170,763 千円、営業利益は 65,474 千円、経常利益は 69,100 千円、中間純利益は 47,151 千円となりました。

なお、当社は海外ブランド香水の輸入販売を主力としたフレグランス等のコスメ販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載を省略しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当中間会計期間の財政状態につきましては、次のとおりです。

#### (資産の部)

資産は 1,025,645 千円（前期末比 36,515 千円増）となりました。流動資産につきましては、813,037 千円（前期末比 23,656 千円減）となりました。これは主に、現金及び預金が 195,172 千円減少したこと、売掛金が 92,125 千円増加したこと、商品が 35,422 千円増加したことによるものです。固定資産につきましては、212,608 千円（前期末比 60,171 千円増）となりました。これは主に、建物附属設備が 12,679 千円増加したこと、工具器具備品が 12,466 千円増加したこと、建設仮勘定が 36,811 千円増加したことによるものです。

#### (負債の部)

負債は 432,272 千円（前期末比 10,636 千円減）となりました。流動負債につきましては、284,378 千円（前期末比 25,817 千円増）となりました。これは主に、買掛金が 19,713 千円増加したこと、短期借入金が 33,179 千円増加したこと、未払費用が 20,442 千円増加したこと、未払法人税等が 41,316 千円減少したことによるものです。固定負債につきましては、147,893 千円（前期末比 36,453 千円減）となりました。これは主に、長期借入金が 35,565 千円減少したことによるものです。

#### (純資産の部)

純資産につきましては 593,373 千円（前期末比 47,151 千円増）となりました。これは、中間純利益 47,151 千円の計上によるものです。

#### ②キャッシュ・フローの概況

当中間会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」といいます。）の残高は 211,349 千円（前事業年度末比 185,172 千円減）となりました。各キャッシュ・フローの状況と主な要因は以下のとおりです。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果使用した資金は 98,874 千円となりました。これは主に税引前中間純利益の計上 67,804 千円、減価償却費 19,672 千円の計上、買掛金の増加 19,713 千円、未払費用の増加 20,443 千円に対して、売掛金の増加 92,126 千円、棚卸資産の増加 35,423 千円、前渡金の増加 29,876 千円、法人税等の支払 56,991 千円が生じたことによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は 75,584 千円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出 78,942 千円、定期預金の払戻による収入 10,000 千円、敷金及び保証金の差入による支出 6,642 千円が生じたことによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は 10,714 千円となりました。これは主に短期借入金の借入による収入 33,179 千円に対して長期借入金の返済による支出 43,893 千円によるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しにつきましては、2026 年 3 月以降に複数の新規出店を予定していることに加え、前事業年度に新規出店した店舗の成長に注力することにより、売上の増加を見込んでおります。ニッチフレグランス市場におけるリーディングカンパニーとしての地位をさらに強化するため、マーケティング活動の充実とカスタマーエクスペリエンスの向上に注力いたします。また、将来の成長に向けた取り組みとして、新業態の開発にも積極的に取り組んでおります。これは、当社の強みであるニッチフレグランスの知見を活かしつつ、新たな顧客層の開拓と既存顧客との繋がりの強化を目指すものです。

2026 年 6 月期の業績につきましては、売上高 2,383 百万円（前事業年度比 25.1%増加）、営業利益 218 百万円（前事業年度比 5.1%減少）、経常利益 215 百万円（前事業年度比 5.4%減少）、当期純利益 140 百万円（前事業年比 13.0%減少）を見込んでおります。

3. 中間財務諸表及び主な注記

(1) 中間貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025 年 6 月 30 日)	当中間会計期間 (2025 年 12 月 31 日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	406,522	211,349
売掛金	128,072	220,198
商品	271,396	306,819
前渡金	19,062	48,938
その他	11,638	25,730
流動資産合計	836,693	813,037
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備 (純額)	67,998	80,678
車両運搬具 (純額)	5,203	4,337
工具器具備品 (純額)	14,978	27,445
建設仮勘定	704	37,515
有形固定資産合計	88,884	149,976
投資その他の資産		
敷金及び保証金	40,714	44,913
繰延税金資産	16,811	11,884
その他	6,026	5,833
投資その他の資産合計	63,552	62,632
固定資産合計	152,436	212,608
資産合計	989,129	1,025,645

	前事業年度 (2025 年 6 月 30 日)	当中間会計期間 (2025 年 12 月 31 日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	9,395	29,108
短期借入金	—	33,179
一年以内返済予定の長期借入金	91,552	83,224
未払金	15,369	28,705
未払費用	54,149	74,592
未払法人税等	56,991	15,675
未払消費税等	21,901	12,663
その他	9,202	7,229
流動負債合計	258,560	284,378
固定負債		
長期借入金	173,499	137,934
その他	10,848	9,959
固定負債合計	184,347	147,893
負債合計	442,908	432,272
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000	1,000
利益剰余金	545,221	592,373
株主資本合計	546,221	593,373
純資産合計	546,221	593,373
負債純資産合計	989,129	1,025,645

(2) 中間損益計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2025 年 7 月 1 日 至 2025 年 12 月 31 日)
売上高	1,170,763
売上原価	401,360
売上総利益	769,402
販売費及び一般管理費	703,928
営業利益	65,474
営業外収益	
受取利息	327
雑収入	5,576
営業外収益合計	5,904
営業外費用	
支払利息	1,545
為替差損	720
雑損失	11
営業外費用合計	2,277
経常利益	69,100
特別損失	
固定資産除却損	1,296
特別損失合計	1,296
税引前中間純利益	67,804
法人税、住民税及び事業税	15,725
法人税等調整額	4,927
法人税等合計	20,652
中間純利益	47,151

(3) 中間キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	当中間会計期間 (自 2025 年 7 月 1 日 至 2025 年 12 月 31 日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税引前中間純利益	67,804
減価償却費	19,672
受取利息	327
支払利息	1,545
売上債権の増減額 (△は増加)	△ 92,126
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△ 35,423
前渡金の増減額 (△は増加)	△ 29,876
その他流動資産の増減額 (△は増加)	△ 14,100
買掛金の増減額 (△は減少)	19,713
未払金の増減額 (△は減少)	13,336
未払費用の増減額 (△は減少)	20,443
未払消費税の増減額 (△は減少)	△ 9,238
その他	△ 2,742
小計	△ 40,665
利息の受取額	327
利息の支払額	△ 1,545
法人税等の支払額	△ 56,991
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 98,874
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 78,942
定期預金の払戻による収入	10,000
敷金及び保証金の差入による支出	△ 6,642
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 75,584
財務活動によるキャッシュ・フロー	
短期借入金の増減額 (△は減少)	33,179
長期借入金の返済による支出	△ 43,893
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 10,714
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△ 185,172
現金及び現金同等物の期首残高	396,522
現金及び現金同等物の中間期末残高	211,349

(4) 中間財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

当社は海外ブランド香水の輸入販売を主力としたフレグランス等のコスメ販売事業の単一セグメントであるため、セグメント別の業績等の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。